

競技運営規程

1. 本大会の運営は、この運営規程による。
2. 競技規則は、(公社)日本ホッケー協会2024年度6人制ホッケー競技規則ならびに令和6年度のスポーツ少年団・中学生(全国大会)にならう。
3. 競技時間
 - * 小学生は前後半各10分・ハーフタイム3分とする。
 - * 中学生は前後半各12分・ハーフタイム3分とする。
4. 競技方法
 - * 小学生男子の部(30チーム)
参加チームを9グループに分ける。1日目に予選リーグを実施し、2日目は各グループ第1位・第2位チームによる決勝トーナメント戦、予選リーグ敗者チームによる交流試合を行う。
 - * 小学生女子の部(20チーム)
参加チームを6グループに分ける。1日目に予選リーグを実施し、2日目は各グループ第1位・第2位チームによる決勝トーナメント戦、予選リーグ敗者チームによる交流試合を行う。
 - * 中学生男子の部(18チーム)
参加チームを6グループに分ける。1日目に予選リーグを実施し、2日目は全チームによる決勝トーナメント戦をする。
 - * 中学生女子の部(13チーム)
参加チームを4グループに分ける。1日目に予選リーグを実施し、2日目は全チームによる決勝トーナメント戦をする。
5. 延長戦
 - ① 延長戦は行わない。
 - ② 決勝トーナメント戦において、時間内に勝敗の決しないときは、7に定めるシュートアウト(SO)戦によって勝敗を決定する。
6. 勝点制について

リーグ戦において、試合の結果勝ちチームに3点、負けチームに0点、引き分けの場合はそれぞれ各1点を与えるものとする。勝点と同じ場合は、下記の事項により順位を決定する。

ただし、4チームによるグループで、総当たりでないグループについては、変則リーグ方式のため、①と④(②と③は関係なし)の事項で順位を決定する。

 - ① 直接対決の勝者
 - ② 得失点差数
 - ③ 総得点数
 - ④ SO戦
7. SO戦による勝負の決定方法
 - ① 両チームの監督は、自チーム内よりレッドカードによる退場処分を受けている選手を除いた、出場登録済みの選手の中から3名の選手(シューター)と1名のゴールキーパーを指名する。
 - ② 両チーム主将によりトスを行い、先攻後攻を決める。その後両チーム3名ずつのシューターにより交互に攻防を1巡行い(計6本)、得点の多いチームを勝者とする。
 - ③ ②の方法によって勝敗が決しない時は「サドン・デス方式」すなわち両チームが同数のシュートを行った中で最初にリードしたチームを勝者とする方式により、再SO戦を行う。この時は、最初先攻のチームが後攻となり、選手はプレー不可能な者を除き、各チームは最初と同じメンバーで行う。ただし、順序は変えてもよい。
8. 競技規則の注意点について

- ① PC 守備時の残り 2 名について、小学生の部においてはセンターラインから後方側、中学生の部においては、相手側バックラインから 16m 以内とする。
- ② グリーンカードについては、1 分間、イエローカードについては 2 分以上の退場となる。
- ③ 小学生の部において、振りかぶって行うリバースヒットは禁止とする。
- ④ SO は 6 秒、16 m ポイントから実施する。
- ⑤ ペナルティコーナーの守備者が、PC 防具を装着している場合で、守備側ビハインドフリーヒットになった場合、プレイヤーは必ず PC 防具を取り外すこと。フォワードの反則による守備側フリーヒットで速やかに再開を行う場合には、装具を外さなくても良い。
- ⑥ マウスピースの着用の有無は、本大会では特に問わないので、監督の責任において管理を行うこと。
- ⑦ 試合開始時または試合中において、選手が 4 名以下になった場合、棄権扱いとし、5-0 で相手チームの勝利とする。ただし、一時退場やけがの手当てなどの場合は除く。

9. その他

- ① 選手の交代は、ジャッジ席側センターラインで行うこと。
- ② 出場チームが試合開始時刻までに参集しない場合は、棄権したものとみなし、相手チームに不戦勝を与える。
- ③ 雨天、日没等、試合続行不可能な状況の場合は、競技会場・試合開始時間の変更・試合時間の短縮等大会本部の指示に従うものとする。